



国東半島の魅力

特徴的な地形が生んだ名所や絶景、史跡をめくりながら、そこに積もった時間やくらしに思いをめぐらせ、風景の一步奥へ踏み込んでみませんか？そこから先は、きっとアートが特別な体験へと導いてくれます。

歴史



神仏習合の発祥でもある「六郷満山」の文化が根付く国東半島。寺院や神社、お祭りなどをめぐって、歴史に触れてみましょう。



自然

風光明媚な里山、不思議なかたちの岩や山、干潟に落ちる夕日など、国東半島には自然が織りなす絶景がいっぱい。

食



海と山に恵まれた国東半島は食材も豊か。特産品や旬の食材を使ったグルメをぜひ味わってみてください。

【お問い合わせ先】豊後高田市観光協会:0978-25-6219 / 国東市観光協会:0978-72-5173

発行者:大分県 企画:Yamaide Art Office 株式会社 / 制作:BEPPU PROJECT / デザイン:山の上デザイン このマップは、『福岡・大分アステーションキャンペーン』の会期とあわせて開催する『Oita Cultural Expo! '24』の一環で制作したものです。



海に浮かぶドームのようなかたちの国東半島。そこに散りばめられたたくさんの物語をアートが案内します。アートをめぐって、国東半島の歴史や文化に触れながら、物語のなかを旅してみませんか？



名所・旧跡



豊後高田市
富貴寺大堂
所在地 豊後高田市 田染路2395
時間 8:30~16:30
拝観料 一般・高校生 500円 小・中学生 150円 ※雨天時には大堂内での拝観はできません。
駐車場 あり

現存する九州最古の木造建築物で、国宝のお寺は京都の平等院鳳凰堂、岩手の中尊寺金色堂と並ぶ日本三阿弥陀堂のひとつ。美しい新緑や紅葉、雪景色など、四季折々の風景が印象的です。紅葉の名スポットとして広く知られ、例年11月末から12月初旬にかけてライトアップが実施されます。



豊後高田市
昭和の町 (昭和ロマン蔵)
所在地 豊後高田市新町989番地1
時間 平日 10:00~17:00 土日祝 9:00~17:00
定休日 12月30日、31日
駐車場 あり(普通車400円 ※40分以内無料)

レトロな建物や看板など、昭和30年代の面影がいたるところに残る商店街。旧倉庫を改修した『昭和ロマン蔵』には、約6万点のおもちゃを展示した『駄菓子屋の夢博物館』のほか、昭和30年代の民家や商店、学校の教室を再現した、懐かしい昭和の風景を楽しめます。



国東市
両子寺
所在地 国東市安岐町両子1548
時間 3~11月 8:00~17:00 12~2月 8:30~16:30
拝観料 300円
駐車場 あり (普通車70台、バス10台)

国東半島のほぼ中央にそびえる両子山の中腹にある寺院。国東半島全体に広がる天台宗寺院「六郷満山」の総本山であり、山岳修行の根本道場にあたります。広大な境内には、国東半島最大級の仁王像や、本尊の千手観音など見どころがたくさん。紅葉の名所としても知られています。



国東市
五辻不動尊
所在地 国東市国見町千燈
駐車場 あり (普通車10台程度)

標高365mの不動山の岩肌に建てられた御堂。姫島はもちろん、天気の良い日には遠く山口県まで見渡すことができます。御堂には不動尊が祀られており、六郷満山霊場として10年に1度の峯入り行のルートにもなっています。駐車場から10分程、急な山道や岩場を歩くため注意が必要。

国東市
空海寺
所在地 国東市武蔵町糸原 3339番地21
駐車場 あり (普通車6台/身障者1台)

大空港の北側にある、海に向かって眺望がひらけた公園です。発着する飛行機を間近で見ることができます。2023年度にはサハコによるアート作品の、宇田人「ポリリコボリン」と巨大な宇宙船『オシロイン』が設置されました。

国東市
クハス祭り
会場 岩倉社 (榎来社)
所在地 国東市国見町榎来
開催日 毎年10月14日
駐車場 あり

国選枳形民俗文化財「クハス祭り」は、無病息災を願う翌年の五穀豊稔の豊凶を祈る、勇壮な火祭りです。奇様な面のクハスと白衣のトウバ火をめぐって攻防し、振りまかれる火の粉に観客の歓声が響きます。



豊後高田市
豊後高田そば
所在地 豊後高田市 見目4060
定休日 木曜日 (7・8月は営業)
駐車場 あり

春には約2,200万本の菜の花、夏には約160万本のひまわりが咲き誇る、岬の花畑。宿泊やBBQを楽しむこともできます。また、長崎県全体には、国内外の世界のアート作品が設置されており、散策しながらアートを楽しむことができます。

豊後高田市
田染小岬
所在地 豊後高田市 田染小岬2596
季節の催し

1200年もの歴史がある荘園に、昔ながらの田園風景が今もなお色濃く残されています。地域の方たちの協力があってこそ残せた大切な遺産です。平成22年に国の重要文化財に選定され、平成23年12月にはユネスコ未来遺産に登録されました。

物語を感じて楽しむ国東

グルメ

豊後高田市
豊後高田そば
西日本有数のそばの産地である豊後高田市では、春と秋に新そばを味わうことができます。春そばはさわやかな味わい、秋そばは豊かで深い味わいが特長です。市内には豊後高田そばの認定店が12店舗あり、挽きたて、打ちたて、茹でたての「三たて」にこだわった、そばを提供しています。



豊後高田市
岬ガザミ
ワタリガニの好漁場である香々地地域。そこで水揚げされる大型のワタリガニを「岬ガザミ」と呼んでいます。岬ガザミの魅力は、繊細で上品な甘み。塩ゆでで食べるのが最高です。なかでもオスは8月~10月、メスは卵を抱える11月~12月が旬となります。



国東市
オリーブ
9月中旬~12月にかけて収穫時期を迎えるオリーブ。その年に収穫した実から作られたオリーブオイルや塩漬けが、12月から店頭に並びます。国東のオリーブはマイルドで香りが強く、フルーティなのが特徴。食用はもちろん、クレンジングオイルやせっけんも人気です。



国東市
太刀魚、タコ、タイ
国東市には海・山の幸がたくさん。太刀魚、タコ、タイをはじめ、市内には特産品を使ったグルメを提供する飲食店も数多くあります。秋に開催される市内最大の食の祭典「T-1イベント」では、特産品を使ったグルメが一堂に会し、市民や観光客で賑わいます。

チームラボ

撮影：久保貴史 ©国東半島芸術祭実行委員会



所在地 大分県豊後高田市臼野4467番地3

お問い合わせ 0978-23-1860 (豊後高田市観光まちづくり株式会社)

「花と人、コントロールできないけれども、共に生きる - Kunisaki Peninsula」

国東半島の花々が咲いては散り、枯れていくサイクルを表現したデジタルインスタレーション作品。鑑賞者の動きに応じて変化する植物の姿は、人と自然との関わりを示唆しています。

勅使川原 三郎

所在地 大分県豊後高田市一畑1587

「月の木・光の水滴」

鬼が住んでいたと伝わる岩山「鬼城岩峰」。そのふもとにある並石ダムを散策すると、季節ごとの美しい風景と2つの彫刻作品に出会えます。ガラスでできた作品は、光のあたり方によって表情が変わります。



撮影：久保貴史 ©国東半島芸術祭実行委員会

長崎鼻リゾートキャンプ場

所在地 大分県豊後高田市見目4060

長崎鼻は、春は菜の花、夏にはひまわりが一面に咲く花の岬です。ここには国内外で活躍するアーティストの作品がいっぱい！岬を散策しながら、海や花とともにアート作品をお楽しみください。

オノ・ヨーコ

「見えないベンチ・念願の木」 「見えないベンチ」は、石のベンチに座り、石板に刻まれた詩とともに岬の風景を楽しむ作品です。「念願の木」に願いを書いた短冊を吊ると、アイランドにある「イマジン・ピース・タワー」に届きます。



撮影：久保貴史 ©国東半島芸術祭実行委員会

鴻池朋子

「One Wild Day」 海と空としげみに抱かれたちいさな草原に、たくさんの生きものがいます。登ったり、触ったり、芝生のうえを転がったり、この生きものたちとお友だちになって過ごしてみてください。



撮影：久保貴史 ©国東半島カルチャーリズム推進事業

木村崇人

「太陽と坐る」 ひまわり形のオブジェの影に腰をおろして、あたりを見回してみてください。季節や時間によって見える景色は異なりますが、私たちもその生命の営みや循環の一部であることを感じさせてくれる作品です。



撮影：久保貴史 ©国東半島カルチャーリズム推進事業

チェ・ジョンファ

「色色々」 だんだん畑の頂上にあるピラミッド型の花壇。地元の人々が植える花の色や季節によって、表情を変える自然の彫刻作品です。花壇の上は展望台になっており、岬の風景を一望できます。



撮影：久保貴史 ©国東半島芸術祭実行委員会

淀川 テクニック

「国東半島のラクダ」 旅人を運ぶラクダ。その表面は国東半島で集められた漆箱で覆われ、おなかには全国各地で採取された種や植物が入っています。種や植物は、鑑賞者が持ち寄り、持ち帰ったりすることができます。



撮影：久保貴史 ©国東半島カルチャーリズム推進事業

不均質な自然と人の美術館

太陽と月の動きや風の向きなど、国東半島の自然の要素を取り入れたメディアアートを体験できる美術館。

お問い合わせ 0978-23-1860 (豊後高田市観光まちづくり株式会社)



<p>藤沢さだみ</p> <p>「おかしなどうぶつ-みつじ」</p> <p>「おかしなどうぶつ-わか」</p> <p>写真撮影：竹内康訓</p>	<p>藤本 由紀夫</p> <p>「on the border」</p> <p>撮影：今枝あき</p>	<p>戸田裕介</p> <p>「水土の門/天地を巡るもの-II(stage2)」</p> <p>写真撮影：竹内康訓</p>	<p>森 貴也</p> <p>「なるべく高いところから空を見る」</p> <p>写真撮影：竹内康訓</p>	<p>中井川 由季</p> <p>「丸くなって寄り添う」</p> <p>「花にうすくまる」</p> <p>撮影：今枝あき</p>
--	---	---	---	--

国東半島アートめぐり

- ・作品間の距離や移動時間をあらかじめご確認ください。
 - ・交差点や分岐点など、迷いやすいポイントを▲マークで示しています。
 - ・屋外作品の悪天時や夜間のご鑑賞はお避けください。
 - ・トレッキングシューズやスニーカーなど歩きやすい靴がおすすめです。
 - ・**有料** マークがついている施設は入場料が必要です。
- 季節によって開館時間が変動しますのでご確認ください。a



鶴川商店街周辺観光・交流拠点施設

所在地 国東市国東町鶴川1365番地1

時間 9:00~18:00 (チャレンジショップは22:00まで営業可)

定休日 年末年始 (12月29日~1月3日)

駐車場 あり (普通24台、身障者2台)

予約電話番号 0978-75-0583



令和5年10月に開設された、国東市の新たな交流拠点。企画展等のイベントの開催、テレワーク、飲食・物販の出店など、多種多様に活用できます。

島袋道浩

撮影：島袋道浩 ©国東半島カルチャーリズム推進事業

旭日地区

所在地 大分県国東市国東町綱井 祇園山

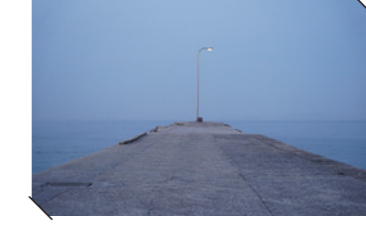


「光る道 - 階段の無い参道」点灯時間：日没後~22:00 山頂まで続く、階段のない参道に一直線の白い手すりを設置しました。夜間には手すりが点灯し、一筋の光を灯します。

「首飾り - 石を持って山に登る」 階段のない参道を登った先に、世界各地から集められた大小さまざまな石が環状に並んでいます。ここへ来る人々が持ち寄った石を置き積み重ねていくことで、育っていく作品です。

来浦地区

所在地 大分県国東市国東町浜 来浦海水浴場



「息吹」 点灯時間：日没後~22:00

埠頭に立つ外灯が、点いたり消えたりしています。その不規則なリズムはまるで、長い眠りから目覚めた外灯が深く呼吸したり、時に何か語りかけたりしているかのようです。



馬ノ瀬地区

所在地 大分県国東市国見町竹田津 馬ノ瀬



「マノセ」

馬ノ瀬は、潮が引くと離れ小島へと続く細い道が現れる海岸です。自然がつくる彫刻のようなこの風景のなかで、作家からのメッセージに沿ってゆっくり過ごしてみてください。



川俣 正

撮影：久保貴史 ©国東半島芸術祭実行委員会

所在地 大分県国東市国見町岐部536



「説教壇」

禁教の時代に岐部地区からローマに到達し、司祭の叙階を受けたベトロ・カスイ岐部。その記念公園内に立つ、鉄製の人体像は何を見つめているのでしょうか。像のそばに立ち、視線の先に思いを馳せてみてください。

宮島達男

撮影：久保貴史 ©国東半島芸術祭実行委員会

所在地 大分県国東市国東町成仏 成仏岩遺跡入口



「Hundred Life Houses」

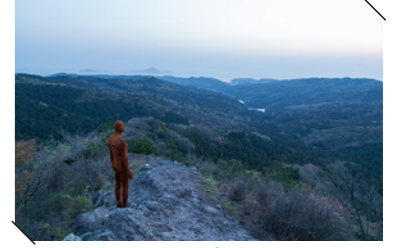
脈々と受け継がれる生命や人々の営みを表現した、現代の磨崖仏とも言える作品です。この作品は、多くの地域住民や留学生などが参加したワークショップで制作されました。

アントニー・ゴームリー

所在地 大分県国東市国見町千燈

「ANOTHER TIME XX」

国東半島に根付く「六郷満山文化」の要所である千燈岳。その山頂付近に立つ、鉄製の人体像は何を見つめているのでしょうか。像のそばに立ち、視線の先に思いを馳せてみてください。



撮影：久保貴史 ©国東半島芸術祭実行委員会

レイチェル・ホワイトリード

所在地 大分県国東市国東町鶴川1328-1

「Kunisaki House」

20年以上空き家だった民家の内部をコンクリートで型取った作品。この家の日常や地域特有の暮らし、空気や気配に形を与え、ここに永遠に留めようとしているかのようです。



撮影：久保貴史 ©国東半島カルチャーリズム推進事業